

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	現状45,000人以上の市民が加入しているが、年々加入率が低下しているが、年々加入率が低下してきているため、より多くの市民に加入してもらうように周知することが必要である。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	56,170千円	27,918千円	加入者数 共済会費収入 見舞金支給件数	交通災害共済加入率	過去の交通災害共済加入率が高かった数値を設定した。	R1年度に改善した点							
	根拠法令	所沢市交通災害共済条例及び施行規則	R1予算現額	R1決算額(見込み)							53,780千円			29,588千円	チャラシ等の印刷物を改善した。具体的には、チャラシに見舞金請求のフローチャートをつくるとともに、会員証の封筒に自損事故でも請求可能であることを強調した。
	事業の目的及び具体的な内容	加入者の相互扶助により、交通事故による災害を受けた者へ見舞金を支給する。そのため、毎年共済加入者を募集し、その会費収入を原資として、交通事故により災害に遭った会員に死亡又は傷害の程度に応じて見舞金を支給することで、市民の生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的とする。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	0.90人	非常勤特別職	0.00人	30.0%		14.6%	加入者の多くが自治会等の取りまとめを通じて加入しているが、自治会を通じての加入者が減少している。また、自転車事故を起こした際に高額な損害賠償が生じる可能性があることについて市民に浸透しており、損害賠償制度のない当共済から民間の損害賠償付き保険等に移行している方が多くなっているため。								
	期間	昭和42年度～	7,542千円	臨時職員	1.42人	R元年度目標	R1実績								
	7,481千円	臨時職員	1.58人	30.0%		R2年度目標									
	45,538人	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	25,517,850円	336件										
	0.90人	非常勤特別職	0.00人												
	7,481千円	臨時職員	1.58人												
評価者	交通安全課長 粕谷 広和	どのように貢献したか	交通事故によりケガをした加入者に対し、適切に見舞金を支給した。												
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	駅周辺の良好な生活環境を確保するためには、自転車駐車場の設置が不可欠である。しかしながら、市営自転車駐車場は設置から相当年数が経過しており、修繕が必要な施設・設備がある。	R1年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	53,980千円	52,782千円	市営自転車駐車場等の施設数 市営自転車駐車場等の収容能力	市営自転車駐車場月平均利用台数	適正な自転車駐車場を設置し、利用者を増やすことで放置自転車を減少させ、市内各駅周辺の良好な生活環境を保持する。	R1年度に改善した点							
	根拠法令	所沢市自転車駐車場条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)							54,561千円			54,276千円	東所沢駅第3自転車駐車場のサイクルラックの修繕を実施した。また、東所沢駅第4自転車駐車場の定期更新機を新しい機器に交換し利用者の利便性の向上を図った。
	事業の目的及び具体的な内容	駅にアクセスするための交通手段である自転車の駐車スペースを確保し、駅周辺の自転車の駐車秩序を図る。 ・各駅周辺における適切な規模の自転車駐車場を設置し、維持管理を行う。 ・管理運営は指定管理者制度を取り入れ、市民サービスの向上と経費の削減を図る。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	1.15人	非常勤特別職	0.00人	23,254台		14,169台	市営自転車駐車場より駅への利便性が高い場所に民間の自転車駐車場が新設されている。市民が自転車駐車場を利用する際の選択肢が増えたからだと考えられる。放置自転車の撤去台数は年々減少しているため、駅周辺の環境については悪化していない。								
	期間	昭和50年度～	9,637千円	臨時職員	0.00人	R元年度目標	R1実績								
	6,234千円	臨時職員	0.00人	23,254台		R2年度目標									
	32箇所	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	23,254台											
	0.75人	非常勤特別職	0.00人												
	6,234千円	臨時職員	0.00人												
評価者	交通安全課長 粕谷 広和	どのように貢献したか	自転車駐車場を整備することで、自転車利用の増加と放置自転車を減少を図り、駅周辺の生活環境を改善した。												
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、放置自転車の台数は減少してきており、見直しの効果が上がってきていると考えられる。今後も、市内駅周辺の歩行者等が安全に通行できるよう、放置自転車台数の減少を図っていくことが必要である。	R1年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	48,970千円	48,609千円	年間撤去台数 年間撤去日数 年間撤去台数/年間撤去日数	自転車放置台数	11月の晴れの平日に自転車放置禁止区域に放置された自転車の数	R1年度に改善した点							
	根拠法令	所沢市自転車駐車場の整備及び自転車の放置の防止に関する条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)							50,099千円			49,124千円	放置自転車指導員について、配置人数の見直しを図り、コストの削減に努めた。
	事業の目的及び具体的な内容	放置自転車禁止区域での立哨指導や放置自転車の撤去により、駅周辺の良好な生活環境を保持する。 ・駅周辺に放置自転車指導員を配置し、放置自転車防止の指導及び自転車駐車場への誘導を行う。 ・自転車放置禁止区域等の放置自転車の撤去を定期的に実施する。 ・自転車保管場所に移動した自転車の所有者について警察に照会し、はがきを送付して返還する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析							
	0.80人	非常勤特別職	0.00人	38台以下		38台	目標達成済								
	期間	昭和50年～	6,704千円	臨時職員	1.00人	R元年度目標	R1実績								
	6,650千円	臨時職員	1.00人	1,079台		R2年度目標									
	58日	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	18.6台											
	0.80人	非常勤特別職	0.00人												
	6,650千円	臨時職員	1.00人												
評価者	交通安全課長 粕谷 広和	どのように貢献したか	駅周辺の放置自転車を減らすことで、歩行者等の通行の安全性の拡大を図った。												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)							
交通安全課	実施計画ランク	c	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	所沢駅西口土地区画整理事業の進捗状況に併せ設計時期等を見直した。また、所沢駅周辺の放置自転車や民間駐輪場の収容状況等を注視しながら、適正な台数の自転車駐車を設置する必要がある。	R1年度に改善した点	11.住み続けられるまちづくりを									
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	0千円	0千円	所沢駅西口の放置自転車撤去台数(年)	(暫定)所沢駅西口第1自転車駐車場の収容台数	既存の所沢駅西口第1自転車駐車場の利用者分の自転車駐車を整備し、同駅西口周辺の放置自転車を減らす。														
	所沢駅西口第1自転車駐車場整備事業	根拠法令 所沢市自転車駐車場条例	R1予算現額	R1決算額(見込み)	所沢駅西口第1自転車駐車場の利用台数(11月度)			H30年度目標							H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	所沢駅西口土地区画整理事業により、既存の所沢駅西口第1自転車駐車場が所沢駅ふれあい通り線の建設地と重なり使用不可となる。このことを受け、所沢駅西口周辺における放置自転車の防止を図ることを目的として、所沢駅西口土地区画整理事業地内に「(暫定)所沢駅西口第1自転車駐車場」を設置するものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	既存の自転車駐車場の利用台数	0.0%	所沢駅西口区画整理事業の工事の進捗状況に併せて、整備時期等を変更したため													
	期間	R1~	0.00人	非常勤特別職 0.00人	36台	R元年度目標	R1実績														
			0千円	臨時職員 0.00人	1,101台	既存の自転車駐車場の利用台数	0.0%														
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0台	R2年度目標															
			3,740千円	臨時職員 0.00人		既存の自転車駐車場の利用台数															
	道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠							B	安全施設の要望は一定している中で、道路反射鏡などは設置について一部明確化していくなど優先順位を定めて対応していく。	R1年度に改善した点	3.すべての人に健康と福祉を	11.住み続けられるまちづくりを	16.平和と公平をすべての人に	
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	52,424千円	51,617千円	道路反射鏡整備数(修繕・新設)	要望・通報に対する処理割合	交通安全の多い危険箇所に対し、通行の安全性を確保するための道路安全施設の設置及び適切な管理をすることが目的となっているため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。													
道路安全施設整備事業		根拠法令 道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例、交通安全対策基本法	R1予算現額	R1決算額(見込み)	道路区画線整備箇所数	H30年度目標			H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析											
事業の目的及び具体的な内容		交通事故の多い危険箇所における、通行の安全性を確保するため、道路反射鏡や道路区画線などを設置。さらに設置した道路安全施設を適切に管理する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	100%	79.1%	安全施設に関する要望は優先順位をつけて対応しているが、全ての要望に対し実施するのは限られた財政状況のため難しく、年度内の処理ができないため。													
期間		S57~	2.90人	非常勤特別職	139か所	R元年度目標	R1実績														
			24,302千円	臨時職員	88か所	100%	88.7%														
			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	778件	R2年度目標															
			24,271千円	臨時職員		100%															